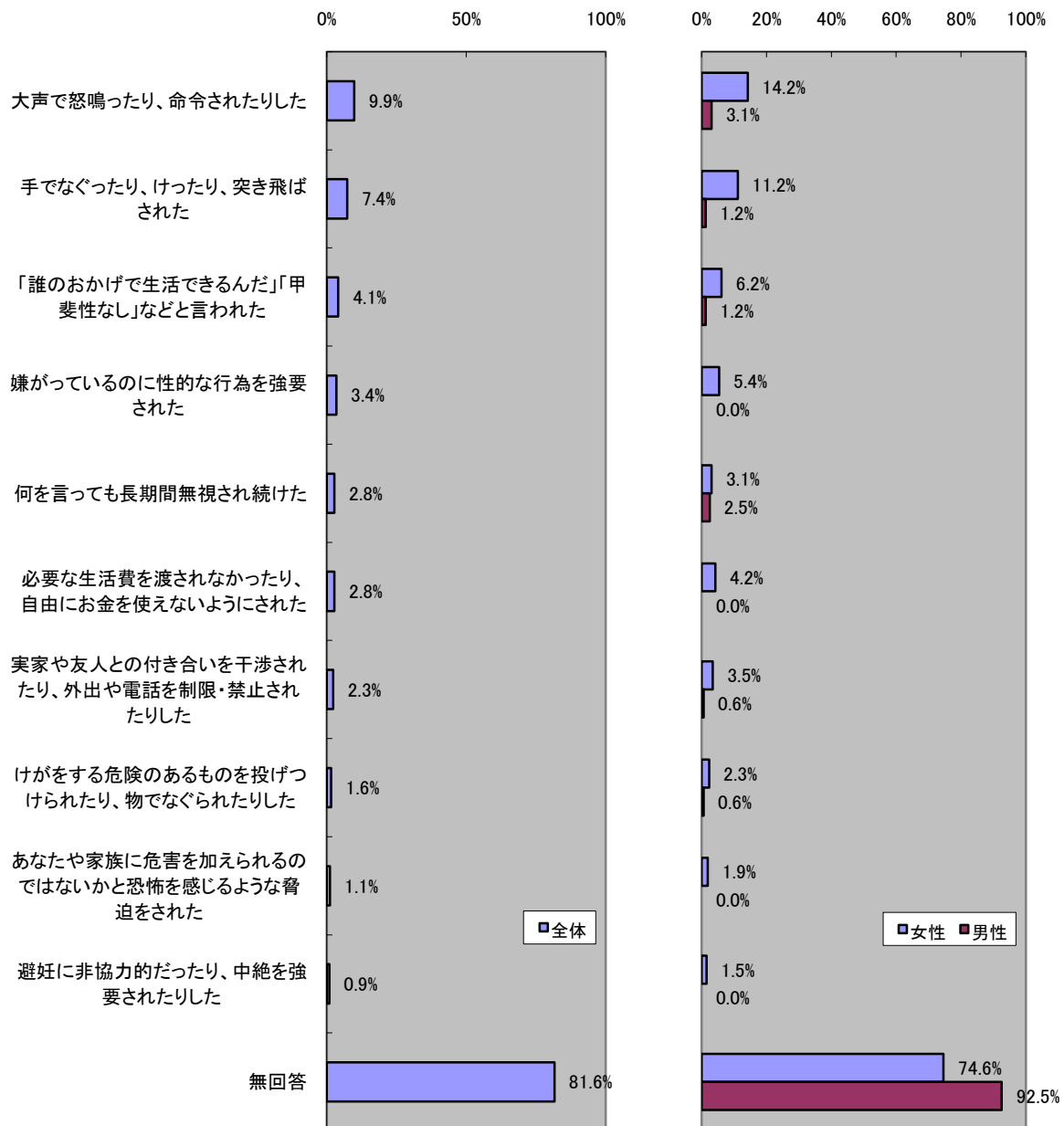


問20 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」についてうかがいます。DVは、家族間、とりわけ配偶者やパートナーからの身体的、精神的、性的な暴力をさすもので、DVを防止するための法律として、平成13年に「DV防止法」が制定されました。

あなたは、これまでに配偶者やパートナーから、次のような行為をされたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

※「配偶者やパートナー」とは、夫、妻、元夫、元妻、同棲相手、恋人、元恋人など、



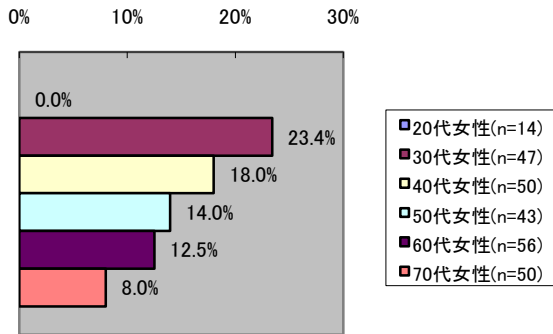
全体で見ると、約2割（18.4%）が何かしらの行為を受けたことがあると回答している。性別では女性の方が割合が高く25.4%、男性は7.5%となっている。

項目別にみると、最も多いのは「大声で怒鳴ったり、命令されたりした」で9.9%、次いで「手でなぐったり、けったり、突き飛ばされた」の7.4%、以下「『誰のおかげで生活できるんだ』『甲斐性なし』などと言われた」4.1%、「嫌がっているのに性的な行為を強要された」3.4%と続く。

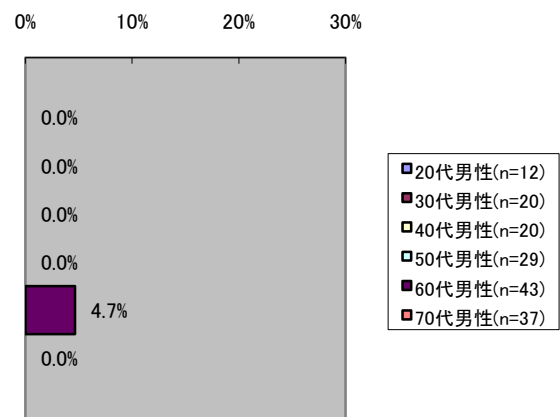
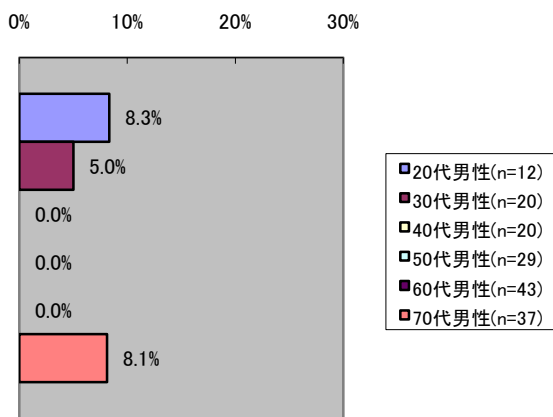
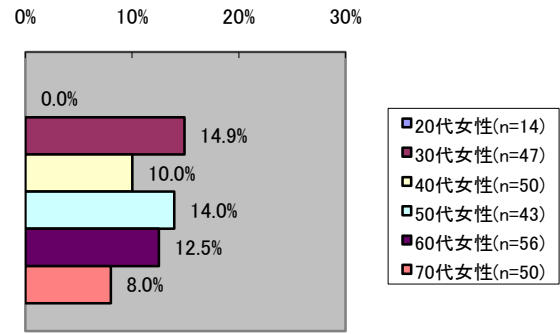
女性で最も多かったのは「大声で怒鳴ったり、命令されたりした」の14.2%となっている。20代女性に最も多く23.4%、年齢が高くなるにつれ割合は低くなる。次いで多かったのは「手でなぐったり、けったり、突き飛ばされた」の11.2%である。男性は女性に比べると、DVを受けている割合は低い、「大声で怒鳴ったり、命令されたりした」が最多で3.1%、次いで多かったのは「何を言っても長期間無視され続けた」の2.5%である。

<性・年代別> (上位4項目)

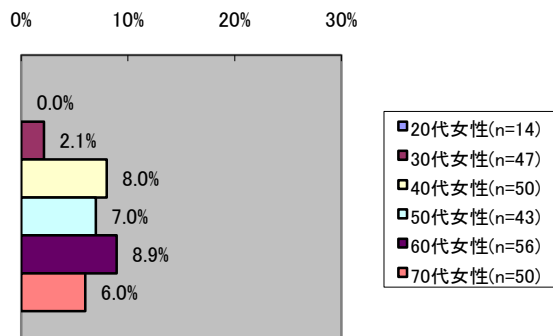
1 大声で怒鳴ったり、命令されたりした



2 手でなぐったり、けったり、突き飛ばされた



3 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと言われた



4 嫌がっているのに性的な行為を強要された

